



# 桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和4（2022）年11月28日 第8号

文責：校長 佐藤 正貴

## 修学旅行中の6年生の姿から

11月8日（火）～9日（水）にかけて、長崎方面に修学旅行に行ってきました。この学年の児童は、昨年度の集団宿泊教室が日帰りとなったため、同じ学年の児童と1泊するのは初めてと聞いています。出発の朝からテンションが高いところを見ても、楽しみにしていたということが分かりました。

さて、旅行期間中は、当然指導を受ける場面などがありますが、それは今後に生かすことができれば良いと思っています。私が印象的だったのは、ハウステンボスでの班行動でした。事前に自分たちで体験したいアトラクションや買い物をしたい場所、昼食の場所などを決めて行動していました。しかし、施設を利用するのは本校の児童だけではありません。当然、他の修学旅行団体や旅行客も一緒に、計画通りにいかないことが多いのです。その中で、子どもたちはお互いに意見や考えを伝え合いながら、行動できたことが素晴らしいと思いました。話し合いながら決めることは、効率的とは言えません。だけど、そこには、自分以外のメンバーの気持ちを思いやる心がありました。友だちのことを考える心は、きっと自分にも返ってきます。こんなつながりがある6年生の姿を見て、嬉しい気持ちになりました。

お土産に買ったものを店に忘れてきたり、財布を落としたりというハプニングもありましたが、無事に1泊2日を終わることができ、子どもたちも思い出に残ったことと思います。



## 学校の決まり

私たちが安心して安全にそして平和的に暮らすためには、当然法律で定められたルールを守ることが大前提です。法律は、大まかに言うと「人と人とは、互いの自由や権利を守り合う必要があること、その場所に合った行動を取る必要があること」と解釈することができます。学校生活も同じです。学校は集団生活をとおして、この法律を守ることができる人格形成の場であると思います。だから、学校生活を営む上で守る必要があるルールがあり、それを守る指導を行っていると考えています。例えば、チャイムを守ることにしてもはどうでしょうか。子どもたちは、遊びに夢中になって授業開始に遅れてしまうことがあります。しかし、そこには授業を受けようと思い、教室で待っている子どももいる訳です。そこで、どちらの自由や権利を優先すべきかという問題となります。そもそも学校とは、将来の夢を実現するために学力保障を行うという大きな目的があります。また、学校の教育活動全体をとおして良好な対人関係を築くことができる能力を高めるなど、教科以外の学びもあります。様々な教育活動を目的を持って進めるためには、時間を区切る必要があるという考えです。だから、教科の授業と休み時間、給食、掃除、学校行事などの教育活動に分かれています。目的を持った活動の中で、決まりを守る態度を身につけていくことが、将来の暮らしを豊かなものにしていくと考えています。

私が子どもの時は「決まりは守るもの」でした。しかし、時代はすごいスピードで変化してきています。これからは、「なぜ、その決まりがあるのか。なぜ、守る必要があるのか。」ということを考えたり、「この決まりは、今の時代にあっていない」と考えたりする力も必要だと思います。そういうことを子どもたち自身が考えたり、職員や保護者で考え合ったりすることが、子どもたちが学びやすい学校づくりにつながると思います。決まりができた根拠を知ったり、納得できる理解ができたり、必要である決まりを自分たちでつくったりすることで、自分たちの学校を自分たちで創り上げていこうとする雰囲気が高まればと思っています。

ちなみに、先日、中学年のある学級の授業に入る機会がありました。その学級は、担任不在でも授業開始のチャイムと同時に黙想を行い、授業を始める事ができていました。また、体育館での集会活動は、縦割り学年で進めています。無言入退場は全学級できています。集会時の話の聞き方も素晴らしいです。落ち着いた雰囲気が学びの基本となることを、児童が理解しつつある姿の表れだと感じています。

## 地域で生きるということ

学校には、地域の方からの連絡がしばしばあります。児童の行動に感心された内容もあれば、しっかり指導してほしいという内容もあります。

今回は、保護者の協力がなければ徹底が難しい内容についてお知らせします。ここでお知らせする理由は、秋休みを利用して、放課後の過ごし方について、お子さんと今一度確認をしていただけたらと考えたからです。

今年度、地域の方からの連絡で一番多い内容は、道路での遊び方です。自転車等の乗り物を利用した遊びで、危うく事故につながりそうな事案がいくつもありました。ヘルメットの着用や交通ルールを守った正しい乗り方については、学校でも指導はできます。しかし、正しいルールの定着を徹底するためには、ご家庭での繰り返しの指導が必要です。また、道路でのボール遊びに関しても連絡があります。勿論、広場等で遊ぶことが原則ですが、今回の問題は、遊んでいたボールが他人の家に入ったり、畑に入ったりしたときの行動です。黙って家に入っていき、せっかく耕した畑を踏み荒らして取りに行くというようなことがあっています。そこにおられた方が注意すると、走って逃げるということもあっています。そういった場合は、きちんと断って取りに行くことが必要です。

交通ルールを守ったり、失敗したりしたときはきちんと断りを入れることができるようになることで、地域でかわいがられる子どもたちになるのではないのでしょうか。